



# 石堤っ子

高岡市立石堤小学校

学校だより No.4

平成30年 11月7日

先日行われた学習発表会には、ご家族の皆様が揃って子供たちの学習の成果を見に来てくださり、ありがとうございました。

2学期の目標は、「周りの人と『いい声』でコミュニケーションをしよう」です。学習発表会で子供たちは、「自分の精一杯頑張っている姿を見てほしい」という思いや、「感謝の気持ちを伝えたい」という思いを、展示作品やステージ発表で形にし、声に出して表現していました。子供たちの思いを受け止めてくださり、温かい拍手やお褒めの言葉をたくさん頂き、とても素敵なコミュニケーションができました。

その後も、連合音楽会、新生苑祭等、多くの人たちの前で発表する機会があり、石堤っ子たちは「いい声」を響かせ、思いを伝えることができました。

## 津波てんでんこ

先日、東京大学大学院教授 片田敏孝先生の講演を聞く機会がありました。片田先生は、岩手県釜石市の小中学校で8年にもわたり津波防災教育を行い、2011年3月11日の東日本大震災では、釜石市の全児童・生徒約3千人が即座に避難し、生存率99.8%の「釜石の奇跡」へと導いた実績をもつ、防災教育のスペシャリストです。

講演の中で語られた「津波てんでんこ」。地震があつたら、家族のことさえ気にせず、てんでばらばらに自分の命を守るために一人ですぐに避難し、一家全滅、共倒れを防げという、三陸地方に伝わる教訓です。講演以来、それがずっと私の頭の中に残っています。

震災前、津波防災教育で、最初に子供たちにアンケートを行ったところ、「家に一人でいるとき大きな地震が発生しました。あなたはどうしますか。」という質問に、ほとんどの回答は「お母さんに電話する」「親が帰ってくるまで家で待つ」というものだったそうです。片田先生はそんな子供たちに「ハザードマップなどの想定にとらわれず、その状況下で最善を尽くすこと」そして、「まずは自分の命を守り抜くために逃げるという決断をし、自ら率先して避難すること」を教え、地域の人も巻き込んで避難訓練を重ねました。

津波防災教育の最後は、子供たちに「今日家に帰ったら、お父さんやお母さんに『いざというときに



は僕は必ず逃げるからね』と、信じてくれるまでちゃんと伝えるんだ。お父さんやお母さんは、君たちが逃げてくれると信じなければ、きっと迎えに来てしまうよ」と諭しました。そして保護者にも、「子供が『津波が来るときには、僕は必ず逃げるから』と言うと思うので、『この子は絶対に逃げてくれる』と確信がもてるまで子供の話を聞いてほしい。そして、確信がもてたら『分かった。ちゃんと逃げるんだよ。お母さんも逃げるからね。後で必ず迎えに行くからね』と言葉をかけてあげてほしい」と話したそうです。

震災当日は、中学生はまだ学校にいたため全員で避難することができたけれど、小学生はすでに帰宅しており、一人で留守番をしていた子供も大勢いたそうです。小学3年生のY男もいつものように自宅でパートに行っている母親の帰りを待っていました。普段はとても甘えっ子で、夜中に母親の布団に潜り込んでくることもしばしばでしたが、震災当日は約束どおり一人で高台に向かって走って避難したそうです。母親はY男のことが心配で、パート先から避難する人々とは逆方向の自宅へ向かって走ったけれど、Y男との約束を思い出し、「自分が死んでしまえば子供もを守る親がいなくなる。あの子はきっと一人で逃げているはず」と信じて高台に走ったそうです。釜石市ではこのように、子供が自分で状況を判断し、決断し、自分の命を守り切ったことが生存率99.8%の奇跡を起こし、さらにその子供の親の命をも救ったのです。



大地震や津波などの災害は、いつやってくるか分かりません。また、災害以外にも事件や事故などの命を脅かす災いに、いつ遭遇するかもしれません。そのような「想定外」の状況の中でも生き抜く力を身に付けること、親がくるまでじっと待っているのではなく、「自分の命は自分で守る」ことを教えることが、幼い子供であってもとても重要なことだと思います。

「自分の命を自分で守る」ということは、誰かに助けをもらうことを期待し待つのではなく、自分の命を守ることに對し、自ら主体的に行動する姿勢です。そのためには、自他共に全ての命が最も尊いものであることを、自らの命が大切にされることによって心から理解していなければなりません。また、様々な状況の中で助かるための術を知識として理解し、いざというときに自分で判断し、決断することや、実行に移す勇気も必要です。小学3年生のY男ができたように、小学生でも「自分の命を自分で守る」ことはできるのです。われわれ大人は、日頃から子供の命を尊重し、様々な状況でも最善を尽くし、強く生き抜くことができる子供に育てていきたいものです。

※子供たちの日々の活動の様子は、ホームページをご覧ください。